

目

黒清掃工場

清掃工場ではごみで発電しています

清掃工場では、ごみを燃焼させたときの熱エネルギーを利用して蒸気を作り、その力でタービンを回して発電しています。やかんでお湯を沸かすと、注ぎ口から蒸気が出ますね。その蒸気に風車をあてると回転します。タービンはこの風車の働きをしています。

当工場では最大11,000kw発電能力のある蒸気タービン発電機が設置されています。工場内で利用し余った電力は電力会社に売電しますが、この年間量は、平均的な家庭約6,500世帯が使用する量に相当します（1世帯約300kwh／月として算出）。

大

田清掃工場

資源の有効活用に貢献しています

大田清掃工場の京浜島不燃ごみ処理センターは、不燃ごみを破砕・選別処理する施設です。搬入される不燃ごみの中には、リサイクル可能な鉄やアルミが混入しています。鉄とアルミを回収するための設備を設置し、1日におよそ鉄を15t、アルミを1t回収しています。選別された鉄とアルミは、機械で自動的に圧縮後、ブロック状に成型され、売却されます。売却して得た収益は、ごみ処理のための費用として、有効に活用しています。

多

摩川清掃工場

ごみの中からこんなものが

焼却後の灰の中から出てきた鉄板、パイプ類、金属の塊等を、ごみ計量器の横に展示し、収集運搬に携わっている皆さんに分別の徹底をお願いしています。これらの鉄板等が、灰と一緒に灰溶融処理施設の前処理設備に入りますと、コンベヤ、スクリーン等の閉塞の原因となり、溶融施設の運転の支障となります。



千

歳清掃工場

飛灰搬出設備整備工事進行中

千歳清掃工場では、19年12月の世田谷清掃工場灰溶融設備のしゅん工に合わせ、焼却灰をタンクローリーに積み込み搬出するために必要となる整備工事を17年9月から進めています。現在は、定期点検補修の炉停止中に、工場棟内部で、既設飛灰搬送設備の更新と飛灰混練設備の改造を行っています。7月からは搬出設備棟の建築工事を、9月から圧送・貯留・搬出設備の工事を予定しています。19年の工事しゅん工後は、当工場の焼却灰は世田谷工場の灰溶融施設に運ばれ、処理され、スラグとなり再利用されます。

渋谷

谷清掃工場

消防団の訓練に協力しています

「わが町はわが手で守れ」これは消防団の合言葉です。

毎年5月になると、渋谷消防団第二分団の可搬ポンプ操法訓練が、工場と連携し搬入路（人工地盤）で行われています。清掃車の途絶えた夜の6時30分から約2時間、6月の大会直前には連日、団員の方々のきびきびした号令が聞こえてきます。訓練の成果が実り、昨年は20年ぶりの優勝でした。